

シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
61

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



- 小出陽子 (Yoko KOIDE)
- 一級建築士。2000年、UNESCO 遺跡保存才
- フィス建設のため、カンボジアに赴任。2005
- 年シエムリアップにレストラン「Cafe Moi Mo
- 」をオープンする。現在は、建築設計とレスト
- ン経営のかたわら、JST (NGO、アンコール遺
- 跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人
- 材養成支援機構) を運営し、農村地域の支援
- 活動を行っている。

新鮮な出会い

日本国政府アンコール遺跡救済チーム (JASA) の修復作業員の多くは、アンコール・トム遺跡の北、アンコール・クラウ村に住んでいます。そんな彼らの村は、シエムリアップ中心部から10キロと離れていないというのに、町とは別世界。村に足を踏み入れると、人々の生活も風景も一変して、のどかな景色が展開します。子供たちははだしで駆け回り、牛が草を食 (は) んでいる小道では、車の代わりに牛車が行き交います。川では水牛の群れが水浴びをし、その傍らでは村人が投網をして夕食のおかずとなる魚を獲っています。水面に浮かぶ睡蓮の茎はスープの具材となり、森に入れば、そこは香辛料として使われる草葉や野生の木の実の宝庫です。村人はそれらの食材をけっして多くは採りません。その日に家族が食べる分だけ手に入れたら終わりです。また、村の子供たちにとって、魚獲りや薪拾いは生活の一部となっていて、学校が終わると森に入り、水辺の浅瀬に仕掛け

MoiMoi Life in Siem Reap Impressive Scene from a Village

Many of the stoneworkers from JASA live in Angkor Krau village, located just next to the Angkor Thom temple. The village is only 10km from the center of Siem Reap, but is completely different from the modern city. Children are running around without shoes and ox carts travel the roads. The villagers take what they eat from the woods and the river, but they do not take too much - they are living with nature.

In this photo, a swimming boy is holding the stems of a lotus. The boy is swimming near a black dog, but neither pay attention to the other. They live together naturally. This may not be a special event in their daily life, but for me it is very fresh and impressive.

を作って、その日の糧となるものを探しています。

そんなアンコール・クラウ村では、いつも新鮮な出会いが待っています。例えばこの写真。向こうから少年が睡蓮の茎の束を抱えて泳いできます。と思っ



たら、こちらの岸からは黒い犬が向こう岸へ…。どちらも『当たり前』の如くすれ違つて、それぞれの岸へと渡つてゆきました。村ではありふれた日常の風景なのでしょう。とはいえ、少年と犬のあまりにも自然な姿に、「：月は東に日は西に」の句が頭の中を駆け巡つた一瞬でした。